

9 成田国際空港騒音対策

9-1 目的

成田国際空港を離着陸する航空機騒音について、市では住民の不安解消のため、騒音対策を求めるとともに、騒音等の影響を把握するための騒音測定を適時適切に実施することを成田国際空港株式会社に要望している。

以下は、成田国際空港株式会社が令和5年度に関地区で測定した結果を、取りまとめたものである。

9-2 測定地点、測定期間

関地区：香取市関529番地

令和5年11月28日(火)～12月4日(月)の7日間（無人測定）

9-3 測定及び集計方法

測定計器は、精密騒音計と音の到来方向から航空機騒音を自動識別する機能を有する環境騒音観測装置を使用し、屋外において測定した。

「航空機騒音に係る環境基準」に従って、航空機騒音を評価した。

9-4 運航状況

11月28日～12月4日に測定した測定期間中の空港北側の運行機数は離陸1,386機、着陸888機、離着陸合計2,274機(324.9機／日)となり、離着陸の割合は、離陸が60.9%、着陸が39.1%だった。

表9-1 運航状況

月 日	北側運航機数(機)			離着陸比率(%)	
	離 陸	着 陸	合 計	離 陸	着 陸
11月28日	146[73]	201[34]	347[107]	57.9[68.2]	42.1[31.8]
11月29日	67[133]	266[0]	333[133]	20.1[100]	79.9[0]
11月30日	280[124]	47[0]	327[124]	85.6[100]	14.4[0]
12月1日	258[157]	90[0]	348[157]	74.1[100]	25.9[0]
12月2日	320[130]	0[11]	320[141]	100[92.2]	0[7.8]
12月3日	144[153]	202[0]	346[153]	41.6[100]	58.4[0]
12月4日	171[126]	82[0]	253[126]	67.6[100]	32.4[0]
期間通算	1386[896]	888[45]	2274[941]	60.9[84.6]	39.1[15.4]

[]内は令和2年度(令和3～4年度については測定なし)

9-5 測定結果

(1)Lden(時間帯補正等価騒音レベル)

航空機騒音の評価指標が平成25年4月1日よりWECPNL(加重等価平均感覚騒音レベル)からLdenに移行したことから、測定結果はLdenで示しているが、測定結果の継続性の観点および比較参照するため、参考値としてWECPNLの値も併記している。

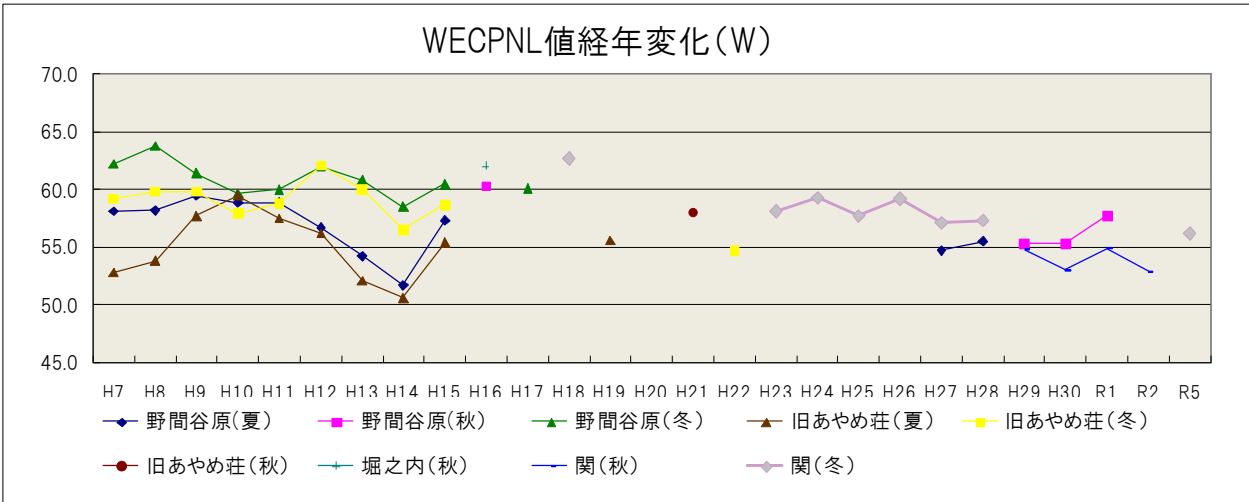
表9－2 測定結果の環境基準との比較

評価指標	環境基準 (Ⅰ類型)	測定結果
		関地区
Lden	57dB	45.2 [42.6]dB
WECPNL	70W	56.2 [52.9]W

Ⅰ類型を当てはめる地域は専ら住居の用に供される地域 []内は令和2年度

香取市は、航空機騒音に係る環境基準の「地域類型指定」によって定められた「指定地域」ではないが、この計算方法によってLdenを求めると関地区は45.2dB【参考値：WECPNL(56.1W)】で環境基準値を下回っている。また、当市のWECPNL(参考値)は近年60W以下で安定している。経年変化は図9－1のとおりである。

図9－1 W値経年変化グラフ



(2)騒音レベル別機数

最大騒音レベル(LAmax)を60dB未満、60dB以上70dB未満、70dB以上に分けてみると表9－3のとおりとなる。

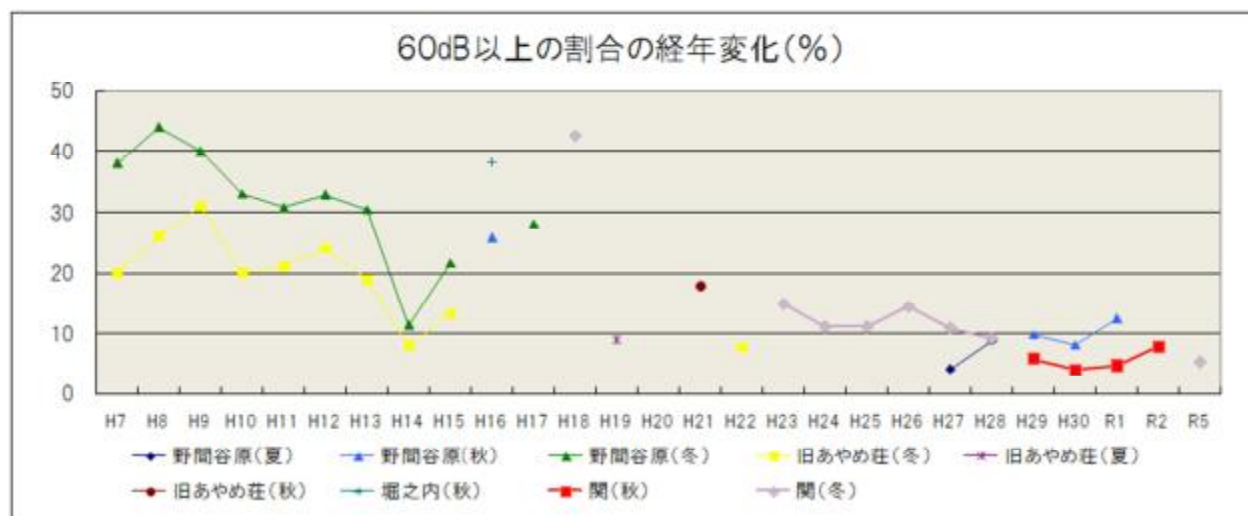
表9－3 関地区の騒音レベル別機数

測 定 点	北側 離着陸機数	測定機数	最大騒音レベル別機数			最大値 dB(A)	60dB以上の割合
			60未満	60～70	70以上		
関地区	2274	1298	1168	117	3	74.6	5.3
(関公民館)	[941]	[518]	[444]	[74]	[0]	[68.6]	[7.8]

[]内は令和2年度

また、60dB以上の騒音を記録した機数の割合の経年変化は図9－2のとおりである。

図9－2 60dB以上の割合の経年変化



※旧あやめ荘のデータは平成9年度が市役所屋上、平成7、8年度は県立病院屋上である。

平成18年度と比べると60dBを超える航空機騒音の割合が減っており、近年は10%前後にとどまっている。これは近年成田空港を離発着する航空機がB-747などの大型機からA-320などの小型機に推移しているためと考えられる。

9-7 考 察

航空機は風に向かって飛ぶため、空港北側においては、北向きの風の日には離陸機が、南向きの風の日には着陸機が多くなる。また、航空機の騒音は離陸機のほうが騒音の影響が大きいとされている。今回の測定では離陸機が60.9%であった。

香取市は、航空機騒音に係る環境基準の指定地域ではなく、測定した期間通算の L_{den} は45.2dB、 $WECPNL$ は56.2Wでいずれも環境基準を下回っていた。

令和2年度の測定結果と比較してみると、騒音レベルが60dB以上の割合は若干減少しており、最大騒音レベル(L_{Amax})は74.6dBであった。

図9-3 標準飛行コース図

